

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和3 年度実施分

施設名	新町こどもクラブ		
指定管理者名	株式会社モアスマイルプロジェクト		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	担当課	子育て推進課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられないもの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書・月次報告書・マニュアル	A	設置目的に沿った運営が出来た。衛生は看護師の指導も利用し努めた。職員配置は人員不足の中でも、他部署も含めた社内全体で適正配置に努めた。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。看護師を派遣し、衛生管理指導を受け、適正な管理に努めている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	月次報告書	A	適正に業務の報告を行った。	A	定められた期限内に報告されている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	月次報告書・現地調査・ヒアリング	A	計画に基づいて施設の安全点検を行った。また育成室内での職員配置に気をつけ、児童の見守りを徹底した。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	現地調査・ヒアリング	A	システム上、書類共に適正に管理を行った。	S	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。また、独自のシステムを導入しており、情報の適正な管理に努めた。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	日誌・月次報告書	S	児童に必要な加配日誌等を作成し、よりよい保育に努めた。	A	業務記録を作成し、整理、保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	現地調査・ヒアリング・マニュアル	A	マニュアル・連絡体制は会議で確認を行った。	A	災害発生時のマニュアル等を整備し、関係機関との連絡体制を整えている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	避難訓練計画書、記録・ヒアリング	A	計画書に基づき実行し、記録を行っている。	A	緊急時に備え、計画通り訓練等を実施した。
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告書・ヒアリング	S	修繕等を行い、適切に管理している。	A	建物や施設の管理を行い、必要な修繕等の対応を行っている。	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書・年間計画書・現地調査・ヒアリング	S	子どもを主体とした行事や、子どもに寄り添った関りに努めた。	A	事業計画に基づき、適切に事業が実施されている。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告書・現地調査・ヒアリング	A	コロナ禍により待機が減ったが、変わりなく適切な保育を行った。	A	事業計画に沿って適切に利用児童の保育が実施されている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	アンケート・ヒアリング	A	アンケートと集計を行った。	A	利用者アンケートを実施し、利用者意見の収集が行われている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート・ヒアリング・現地調査	A	保護者、児童共に満足度は高かったが、課題はあった。	A	利用者アンケートを実施し、概ね良い評価が得られている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート・議事録・現地調査・ヒアリング	S	個別の指導、会議、研修を行い、会社全体で改善に努めた。	A	利用者アンケート等の意見に対し、必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告書・現地調査・ヒアリング	S	子家センを含む、市との連携を適切に行った。また、児童の放課後の児童が安全に通わせる場所としての機能にとどまらず、より良い保育に努めた。	S	市と連携し、児童・保護者へ安全・安心を提供した。学校等の関係機関と情報共有を行い、適切に連携を図っている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書・現地調査・ヒアリング	A	提案した子どもを主体とした保育を実施できた。	A	提案内容を事業や保育内容に取り入れて実施している。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	管理帳簿・事業報告書・現地調査	S	社内で適正に管理をしている。	A	適正に整備し、管理されている。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	管理帳簿・現地調査	S	適正に管理している。	A	適切に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	決算書	A	赤字決算に陥っていない。	A	法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	決算書	S	経常利益率はプラスになっている。	A	経常利益率8.79%であり、法人として適切に運営されている。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	決算書	A	令和元年に設立した認可保育所の借入れ残が大きい。自己資本比率は2.3%となっているが、毎年改善しており経営に問題は無い。	B	学童保育以外の事業による借入があるが、法人として適切に運営し、改善傾向にある。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっている。事業継続の安全性に不安がない。	決算書	S	流動比率は124%であり、キャッシュフローに問題は無い。	A	流動比率124%であり、法人として適切に運営されている。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄 ・子どもを主体とした保育を大切に考え、職員全体でよりよい保育を行う為、パートタイマーも含めた会議及び研修を毎月行った。 ・児童の衛生面を大切に考え、マニュアルを日々実行するすることはもちろんのこと、新型コロナウイルス感染対策等含めた衛生管理を社内看護師が監修し、徹底した衛生対策を行った。 ・安全、清潔な施設のため、修繕や点検を日々行い、過ごしやすい環境づくりに努めた。 ・火災、地震、不審者に対する避難訓練・防犯訓練計画を行い、実施。また、緊急時のマニュアル等は職員全員で把握を行っている。 ・学校、行政との情報交換を常に行い、連携を大切にしている。 ・保護者との日々の信頼関係づくりはもちろんの事、児童の課題については面談等行い、一人一人の発達段階に応じて対応を行った。 ・子どもたちにとっての【生活の場】として保育を行う中で、職員主体ではなく、声掛けや行事、保育所内の環境整備なども児童主体で保育を行うように努めた。
S	9	
A	12	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄 ・協定や事業計画に沿って事業の実施や管理運営を行った。特に、学童保育は「第2の家庭」「毎日の生活の場」「子どもの居場所作り」という子どもたちが日々帰ってくる場所としての基本的な考え方を大切に、また職員間ではより主体的な保育を目指して事業を展開している。 ・指定管理業務3年目として、昨年度の課題を改善していくとともに、すべての支援員の保育の質の向上に努め、引き続きより良い学童保育の運営に努めた。 ・特別な支援を必要とする児童について、療育・生活の観点から本当に必要な支援・求められている支援について保護者も含め話し合うなど、児童に寄り添った支援を行った。 ・各種季節に応じた行事の実施や制作作業など、コロナ禍ではあるが、工夫して児童が楽しめるような事業の実施に取り組んだ。 ・学校や関係機関と定期的に情報共有を行うなど、関係機関との連携した学童保育所の運営を実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策として、看護師の指導のもの、児童の体調管理や施設内定期的な換気や消毒の実施など、衛生管理を実施した。
S	3	
A	17	
B	1	
C	0	